| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 4H1 | 60kg | 60kg |
| | | 3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2 | 120kg | 120kg |
| 金属製容器 | 40kg | 1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、1D、1G(1)、4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F、4G(1)又は4H2 | 400kg | 400kg |
| | | 4H1 | 60kg | 60kg |
| | | 3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2 | 120kg | 120kg |
| 紙製容器(1)(2) | 10kg | 1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、1D、1G(1)、4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F、4G(1)又は4H2 | 400kg | 400kg |
| | | 4H1 | 60kg | 60kg |
| | | 3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2 | 120kg | 120kg |
| ファイバ板製容器(1)(2) | 10kg | 1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、1D、1G(1)、4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F、4G(1)又は4H2 | 400kg | 400kg |
| | | 4H1 | 60kg | 60kg |
| | | 3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2 | 120kg | 120kg |
| 1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、4A(3)、4B(3)、4N(3)、4C1(3)、4C2(3)、4D(3)、4F(3)、4G(3)、4H2(3)、6HA1、6HB1、6HG1、6HD1又は6HH1 | | | 400kg | 400kg |
| 3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2 | | | 120kg | 120kg |
| 5H3(3)(4)、5H4(3)(4)、5L3(3)(4)又は5M2(3)(4) | | | 50kg | 50kg |
| 6HA2、6HB2、6HC、6HD2、6HG2、6HH2、6PA1、6PB1、6PD1、6PG1、6PA2、6PB2、6PC、6PD2、6PG2、6PH1又は6PH2 | | | 75kg | 75kg |
| IMDGコード4.1.4.1の「P200」に規定されている高圧容器又は規則第8条第3項第3号に規定する高圧容器であつて、IMDGコード4.1.3.6の要件に適合するもの（火薬類、熱的不安定物質、有機過酸化物、自己反応性物質、化学反応により圧力が発生する物質及び放射性物質を除く危険物を収納する場合に限る。） | | | | |
| 注　1　表中肩文字(1)から(4)は、以下の要件を示す。<br>(1)　粉末不漏性のものであること。<br>(2)　収納する危険物が運送中に液体状になるおそれのある場合には、当該内装容器を使用しないこと。<br>(3)　収納する危険物が運送中に液体状になるおそれのある場合には、当該容器を使用しないこと。<br>(4)　容器等級Ⅱのものを収納する場合には、当該容器を非開放型貨物輸送ユニットに収納して運送する場合に限り使用することができる。 | | | | |

2　追加規定の欄に掲げる記号の意義は、次に定めるとおりとする。

PP31　国連番号が1326、1339、1340、1341、1343、1352、1358、1373、1374、1378、1379、1382、1384、1385、1390、1393、1394、1400、1401、1405、1417、1431、1437、1871、1923、1929、2004、2008、2318、2545、2546、2624、2805、2813、2830、2835、2844、2881、2940、3078、3088、3170（容器等級Ⅱのもの）、3182、3189、3190、3205、3206、3208及び3209の危険物に関して、容器は気密に密封すること。

PP39　国連番号が1378の危険物に関して、金属製の容器にはガス抜き装置を設けること。

PP40　国連番号が1326、1340、1352、1358、1374、1378、1382、1390、1393、1394、1396、1400、1401、1402、1405、1409、1417、1418、1436、1437、1871、2624、2805、2813、2830、2835、3078、3131、3132、3134、3170、3182、3208及び3209の危険物（容器等級がⅡのものに限る。）に関しては、袋を使用しないこと。

PP83　国連番号が2813の危険物に関しては、熱の発生を目的とする危険物であって20g以下のものを収納する場合は、耐水性の袋を使用することができる。この場合において、耐水性の袋をプラスチック製の袋で密封し、中間容器内に収納しなければならない。外装容器は400g以上の物質を収納してはならない。水反応物質と反応する水又は液体を容器に収納してはならない。

P411

| 内装容器の種類 | 内装容器の許容容量又は許容質量 | 外装容器の種類 | 外装容器の許容容量又は許容質量 |
|---|---|---|---|
| 1A2、1B2、1N2、1H2、1D、1G、4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F、4G、4H1、4H2、3A2、3B2又は3H2（内圧の上昇により爆発しないものに限る。） | | | 30kg |

P500

| 内装容器の種類 | 内装容器の許容容量又は許容質量 | 外装容器の種類 | 外装容器の許容容量又は許容質量 |
|---|---|---|---|
| 1A2、1B2、1N2、1H2、1D、1G、4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F、4G、4H1、4H2、3A2、3B2又は3H2 | | | |
| 注　容器は、運送中に1の酸素発生器が作動した場合に次の要件を満たすものとする。<br>(1)　容器中の他の酸素発生器が作動しないこと。<br>(2)　容器の材料が発火しないこと。<br>(3)　輸送物の外部表面温度が100℃を超えないこと。 | | | |

P501

| 内装容器の種類 | 内装容器の許容容量又は許容質量 | 外装容器の種類 | 外装容器の許容容量又は許容質量 |
|---|---|---|---|
| ガラス製容器、プラスチック製容器又は金属製容器 | 5L | 4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4H2、1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、1D、3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2 | 125kg |
| プラスチック製容器又は金属製容器 | 2L | 1G又は4G | 50kg |